

5歳児  
そら組



今年度最後のすくわくプログラムは「どうしてだろう?」「こうしてみたらどうなるのだろうか?」と子どもたちの探究心をくすぐるような内容でした。5歳児は、自分だけのオリジナル万華鏡を作りました。日頃から自然のことをたくさん教えてくださる石井先生と一緒に、今回は笹川先生にもご来園いただきました。万華鏡作りを通して、光や規則性のある動きの面白さからさまざまな見え方を探究していました。



たくさんの色や模様の千代紙、コマなど種類豊富な教材を前に子どもたちはワクワクが止まらない様子でした。



自分たちの世界に入り込み、集中してじっくりと取り組んでいる姿がとても印象的でした。



友達に助けを求めたり、気に掛けてあげたりしながら協力し合って活動に取り組めるところも5歳児ならではの姿だなと感心しました。万華鏡の角度によって光の入り方が変わり、同じ模様でも全く違う見え方になることが不思議だったようです。

4歳児  
やま組



4歳児やま組は傘袋を使って『空飛ぶロケット作り』を楽しみました。何色もある羽の中から自分のお気に入りの色を見つけて羽を切り、ロケットに貼り付けて完成です。飛ばしていくうちに「もっと遠くに！」「もっと真っすぐに！」など子どもたちの「もっとこういう風にしたい」という気持ちから、羽の枚数を調整したり、羽を貼る位置を工夫したりしてそれぞれの目的に向かって試行錯誤している姿が印象的でした。



遠くまで飛んでいる友達のロケットを見ながら、飛ばし方の研究をしている子もいました。ロケットの先端に紙コップを被せると更によく飛ぶことが分かり、何度も繰り返し楽しんでいました。



子どもたちがロケットの飛ばし方が上手になってきたタイミングで忍者の的あてコーナーが登場し、子どもたちのワクワクはより膨らんでいるようでした。どのようにしたら狙った方向にロケットを飛ばすことができるのか、勢いを出すためには羽の枚数や位置、飛ばし方をどのようにしたらよいのかなど、子どもたちが自分なりに考えて、作り変えたり飛ばし方を工夫したりして集中して取り組んでいました。